

臨海教室

2025.7.18(金)快晴の中、見附第二小学校の臨海学校が郷本海水浴場で行われました。毎年子どもたちが楽しみにしている行事です。人生初めての海が臨海学校だったり、今年の夏、初めて海へ来たという子どもたちだったり、ドキドキわくわくしている気持ちが表情や会話から伝わってきました。自分たちから気付き行動をしてくれる見附第二小学校の子どもたち。今回も素晴らしく、うきわの積み下ろしでは大人が始めようとするとさっと高学年が手伝ってくれました。バスに乗り、あっという間に民宿旅館「あだち」さんに到着し、身支度を整えていざ海へ!砂浜に着くと、砂の熱さに驚きながらも早速カニの穴を見付けたり、貝を見付けたりしていました。

海の中へ入ると、2年生の男の子が、「見て!」と空の何かに気付きました。見上げると彩雲が!!生で見るのが始めてだった私はもうびっくり!周囲に声をかけるとあっという間の連携プレーで全員が気付き、七色に輝く雲に見入っていました。TVでしか(私は数年前の朝ドラ)見たことがない景色に、子どもたち以上に大人たちが大興奮でした。

海の中での子どもたちの様子はといいますと、みんな笑顔。水切りをしたり、貝や海藻を見付けたり、うきわをつなげて泳いだり、もぐったり、海水をなめてみたり(笑)うきわに入りプカプカ浮き、海の流れに身をまかせたり、ワニになった先生とオニごっこをしたり。次から次へとやりたい遊びを楽しんでいました。

子どもたちが海に入っている間は太陽が雲のベールに包まれ、海水の温度も良い感じ。暑さを考慮し短縮となった海での活動でしたが、急遽おまけの時間が増えました。そこでドラマが。生まれて初めての海でドキドキしたようで足をつけることはでき、貝を拾ってはいたものの、中へは入らないと言っていた子が自分から波打ち際に座りはじめたのです。みるみる笑顔が明るくなりとても楽しそうで、私も嬉しくなりました。先生方がそっと寄り添っておられて、その子の心が動くきっかけを上手く作ってくださったのだなと感じました。

海水浴の後は「あだち」さんでお昼ご飯。カレーとアップルシャーベットをお腹いっぱい頂き、寺泊魚の市場通りにて予算を考えながら買い物もしました。

見附第二小学校の行事は先生方のご尽力のおかげでいつもひとりひとりが楽しめる成長できる行事だなと感じることばかりで、本当に親としてはありがたいです。だからこそ、保護者が9名もはりきって引率に参加して下さるのだなと思います。子どもたちが少ないから「〇〇をやめよう」ではなく、少ないところを強みに行事を組み立ててくださる先生方にはとても感謝しています。今回も言わせてください。見附第二小学校 最高です!!

最後に・・・

追加情報です。彩雲は古来より演技の良い兆候とされており、「あだち」さんの方々曰く、昼間の彩雲は本当に稀なことなんだそうです!今年は思い出いっぱいの楽しい年になる事まちがいなですね!

レポートT

